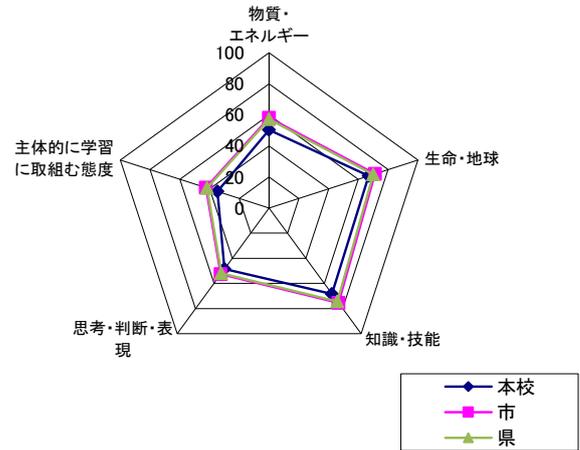


# 宇都宮市立桜小学校 第5学年【理科】分類・区別正答率

## ★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	50.3	58.1	57.2
	生命・地球	66.9	71.1	70.0
観点	知識・技能	68.4	75.5	74.4
	思考・判断・表現	48.4	52.7	51.9
	主体的に学習に取り組む態度	34.7	42.4	41.7



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
物質・エネルギー	<p>○物のあたためり方に関する問題では、すべての項目で県の平均正答率を上回った。</p> <p>○物の体積と力に関する活用的な問題では、県の平均正答率を上回った。</p> <p>●電気のはたらきに関する問題では、すべての項目で県の平均正答率を下回った。</p> <p>●物の体積と温度に関する問題では、すべての項目で県の平均正答率を下回った。</p> <p>●物質の温まり方の違いについては理解できている一方で、体積の変化の違いや物質の状態の変化についての基礎的事項の習熟が不十分である。また、電気という目に見えないものの働きについての理解にも課題がある。</p>	<p>・実験を行う際に、結果予想を立てるとともに結果から考察をしっかりと考えさせる学習活動を常時設定し、科学的な物の見方や考え方を高めていこう、指導していく。</p> <p>・実験結果を、図や表、言葉などでまとめる活動を行うことで、科学的事象をつなげて考えたり、関連づけて捉えたりできるようにする。</p> <p>・デジタル教科書や動画教材など、ICTの教材を効果的に活用して、視覚的に捉えにくいものの動きや働きについて、理解を深めることができるようにしていく。</p>
生命・地球	<p>○天気の様子と気温に関する問題では、すべての項目で県の平均正答率を上回った。</p> <p>○雨水のゆくえと地面のようすに関する活用的な問題では、県の平均正答率を大きく上回った。</p> <p>●月と星に関する問題では、すべての項目で県の平均正答率を下回った。</p> <p>●気温と植物の成長の関係や、天体の動き方の観測について、課題が見られる。</p>	<p>・観察を行う際に、予想を立てたり、日常の自然現象と関連づけて考えたりする学習活動を意図的に取り入れるとともに、観察するポイントを明確に示し、観察結果を互いに共有できるようにしていく。</p> <p>・タブレットを活用して自然の姿や様子、変化、動き等を撮影したり、児童同士で共有したりする活動を通して、観察結果を視覚的に捉え、「生命や地球」についての理解を深めるようにしていく。</p> <p>・家庭学習とタイアップして継続して観察を行うようにし、自然現象への興味関心を高めるようにしていく。</p>